

## 2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	拡張排水システム刊行小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (企画刊行運営委員会)	主査名：古賀 誉章 就任年月：2020 年 4 月
設置期間	2020 年 4 月 ～ 2022 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>(設置目的) 2016 年 2 月刊行の「日本建築学会環境基準 AIJES-B003-2016 機械・サイホン排水システム設計ガイドライン」の副読本として、「(仮称) 拡張排水システムの設計」を刊行すること。</p> <p>初年度：最終原稿作成、出版準備 2 年度：出版、販売促進活動</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無： な し	
	主査：古賀誉章 幹事：白井政夫、光永威彦 委員：安孫子義彦、稲田朝夫、岡内繁和、小川治久、奥野祐一、門脇耕三 小島邦晴、坂上恭助、下田邦雄、仲川ゆり	
設置 WG (WG 名：目的)		
2020 年度予算	5 0 0 0 円	ホームページ公開の有無： な し 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	<del>1. (名称) 参加者数 名</del> <del>(資料名)</del>
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 刊行作業は遅れたものの、査読までは終了できた (90%)
委員会活動の問題点 ・課題	1. コロナ禍で活動を一時休止せざるをえず、刊行作業が滞った 2. 遠隔会議に対応できない委員は、参加ができない場合があった

## 2020 年度 小委員会活動 自己評価

### (中間年度評価)

<b>総合評価 (4 段階評価)</b>	A
<b>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</b>	<p style="text-align: center;">                     コロナ禍による活動の休止があったために、出版作業の進捗は目標から遅れている。しかし活動再開後は、遠隔参加も含めて、年度当初計画の 6 回を超えて精力的に活動した。年度内の出版は達成できなかったものの、査読まで終了する見通しである。したがって、達成度 90% (A) と評価した。                 </p>

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。